

令和6年度 芸術科 「工芸Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3)主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美的意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	鑑賞 オリエンテーション	生活と工芸	・生活の中の工芸についてスライドを鑑賞し、工芸の役割について知る。	ワークシート 学習状況
	5	表現 身近な生活と工芸 陶芸	アイデアスケッチ	・使用する場面を想像し、機能的で目的に応じた器のを設計する。	ワークシート 学習状況 課題レポート 作品
			型紙制作	・型紙制作をする。	
			成形	・菊練りやスライスなどの作業を通して粘土の特性や扱いについて理解する。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫し作業をする。	
	6		絵付け	・顔料の特性や使用目的を知る。 ・表現方法の特性を生かし、色彩について考え、創造的な表現の構想を練る。	
	7		釉薬がけ	・釉薬の特性や使用目的を知る。 ・表現方法の特性を生かし、色彩について考え、創造的な表現の構想を練る。	
			完成・鑑賞	・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。	
	9	表現 社会と工芸 革	練習課題 小銭入れ制作	・革の特性を理解し、制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かしながら制作をする。	学習状況

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10		型紙作成	・使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。	ワークシート 学習状況 課題レポート 作品
	11		本番作品制作(自由課題)	・革の特性を理解し、制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かしながら作業をする。 ・手順や技法などを吟味し、創造的に制作する。	
	12		完成・鑑賞	・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。	
	1	表現 身近な生活と工芸 木のスプーン	アイデアスケッチ 成形	・使用する人に求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。 ・ベルトグラインダーや彫刻刀の取り扱い方について知る。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫し制作をする。	ワークシート 学習状況 課題レポート 作品
	2		仕上げ 完成・鑑賞	・表面塗装について知る。 ・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。	
	3	鑑賞 用途と工芸	コップの鑑賞	・使用目的に応じて材質・形状・色を吟味し、生活を豊かにするための工夫を考える。 ・グループ活動で話し合う。	ワークシート 学習状況

3 評価の観点

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫している。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価します。
(具体的内容：授業の様子、提出作品、デザインシート、感想シートなど)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- メッセージ
工芸教育は、伝統と文化を理解しその良さを楽しむ心を育むためのものです。作業を通して先人の培ってきた知恵、技、そして感性を感じとっていただきたい。そしてこれからユニバーサルデザイン、環境を考えた上での素材など色々考えていくため学んでください。
- 授業を受けるにあたって守ってほしい事項
提出物は締め切りを厳守してください。
毎回授業で行う作業が異なるため、欠席や公欠の場合は次の授業までに必ず担当者のところまで相談に来てください。